

令和 8 年度

教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	44	学校名	多治見北高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	国内外の幅広い分野で活躍する人材を輩出してきた高校として 校訓「自主・自律・自学」のもと、全人的な教育活動を通して 確かな学力と自ら学ぶ姿勢、豊かな人間性、地域を愛する心と広い視野を有する人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	「自主・自律・自学」の校訓に基づき、社会的・職業的自立に向けた基礎となる力を育て、グローバル社会の中で貢献できる生徒の育成を目指す。		
3 つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・ 基礎的・基本的な知識・技能を修得し、思考力・判断力・表現力及び自ら考え学ぶ意欲や態度を身につけた生徒 ・ 豊かな人間性や情操とともに、自らの行動に責任をもち主体的に判断し行動する態度や、積極的に自己を活かす能力を身につけた生徒 ・ 自己の在り方や生き方を考え、主体的に自らの進路を考える能力や態度を身につけた生徒 ・ 地域社会への理解や関心を深めるとともに、国際化に対応できる能力を身につけた生徒	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・ 生徒の興味・関心を喚起し、思考力を高める授業の推進 ・ 信頼と愛情を基盤とし、生徒理解に徹する指導の推進 ・ 将来を見据えた体系的なキャリア教育の推進 ・ 地域に存在する様々な問題の解決を目指す探究活動とその地域連携の推進	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・ 「自主、自律、自学」を身につけ、「自分らしい生き方」へ向かって進む意欲のある生徒 ・ 本校の教育目標及びグラデュエーション・ポリシーを理解し、カリキュラム・ポリシーに沿った学習活動に、主体的に取り組む意欲のある生徒 ・ 自身の現状に満足することなく、より高い目標を設定し努力し続ける意欲のある生徒	
学校の抱える課題	・ グローバルな視点とローカルな視点を併せ持ち、社会に開かれた学校を目指す必要がある。 ・ 観点別学習状況評価についての研究を進め、指導と評価の一体化を図る必要がある。 ・ 生徒の主体的な進路形成に向けて、自ら考え行動できる仕組みづくりが必要である。 ・ 人間関係の構築を苦手とする生徒が増加傾向にあるため、特別活動等を通じて自己有用感を高め、良好な人間関係を築ける人格形成を目指す必要がある。 ・ 教職員の働き方改革を進める必要がある。		
教育指導の重点	領域・分野	今 年 度 の 具 体 的 な 重 点 目 標	
	学校経営	外部との連携強化を図る。また、教職員の働き方改革を進め、業務量管理・健康確保措置を実施する。	
	学習指導	1年生全員を対象に、12月に3日間のグローバルスタディーズプログラムを実施し、英語による実践的なコミュニケーションを通して国際的な視野を広げ、多文化理解と自己理解を深めるとともに、将来に向けた思考力・表現力の育成を図る。また、授業公開週間などを活用し、指導と評価の一体化について学校全体で議論を深める。	
	進路指導	生徒の主体的な進路形成を促すため、探究活動と教科指導との連携を一層強化し、学びと進路を結び付けた指導を推進する。また、個々の課題に応じた面談や情報提供を充実させ、生徒が自ら考え行動できる仕組みづくりを進める。	
	生徒指導	学校祭などの協働的なプロジェクトを通して社会性を育み、自己有用感を高め、良好な人間関係を築ける人格形成を目指す。また、多様な価値観に触れる機会を設けることで、広い視野をもって行動できる生徒を育成する。さらに、その過程でリーダーシップを発揮できる生徒の育成にも取り組む。	

年 度 目 標				年 度 末 評 価 (自 己 評 価)			
領域 分野	3 つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学校経営	●小学校・中学校・大学・地域との連携強化 (地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進する)	施策Ⅳ-20	外部機関との連携回数				
	●教職員研修の受講促進 (教職員の資質向上を図る)	施策Ⅳ-26	研修の受講人数				
	●業務の整理と効率化、及び家庭に早く帰る日の実施 (教職員の働き方改革を推進する)	施策Ⅳ-27	I C T の活用状況 出退勤システムの確認				
	●産業医による職場巡視の充実 (働きやすい環境づくりを推進する)	施策Ⅳ-28	職場巡視の状況				
学習指導	●グローバルスタディーズプログラムの実施 (グローバルな視点の育成を図る)	施策Ⅱ-11	学校評価アンケート				
	●授業公開週間の実施 (指導力向上、及び指導と評価の一体化を図る)	施策Ⅳ-26	学校評価アンケート 生徒アンケート				
	●少人数授業・習熟度別授業の実施 (確かな学力の定着を図る)	施策Ⅱ-8	模試・入試結果				
	●D X ハイスクール事業、及び I C T 活用の推進 (協働活動や個別最適化につながる活用を目指す)	施策Ⅱ-9	D X サークルの活動状況 学校評価アンケート				
進路指導	●発達段階に応じた組織的な進路指導の展開 (主体的に進路選択をする力の育成を図る)	施策Ⅱ-13	学校評価アンケート				
	●キャリア教育の充実 (進路講演会の実施など外部機関の活用を図る)	施策Ⅱ-13	探究講座の実施数 学校評価アンケート				
	●進路指導と探究活動の一体化 (ふるさと教育を含めた一体的な取り組みを進める)	施策Ⅰ-4	生徒アンケート 生徒アンケート				
	●ミニ教育実習の参加促進 (教員を目指す生徒の育成を図る)	施策Ⅳ-26	ミニ教育実習の参加人数				
生徒指導	●講演等を活用した規範意識の育成 (情報モラル・マナー・交通安全等の意識を高める)	施策Ⅲ-19	いじめ・迷惑調査 交通事故件数				
	●特別活動の充実 (自己有用感の高揚とリーダーの育成を図る) (外部機関との連携を図り、活動の幅を広げる)	施策Ⅰ-1	学校評価アンケート				
		施策Ⅰ-7	外部機関との連携状況				
	●不登校への早期対応 (保護者・外部機関との連携強化を図る)	施策Ⅰ-3	学校評価アンケート S C ・S 相の活用状況				

来年度に向けての改善方策等	実施日：令和 9 年 月 日	学校関係者評価	実施日：令和 9 年 月 日